

# 第1回あきる野市農業振興計画策定検討委員会 会議要録

## 【開催日時・場所】

日時：令和4年4月26日（火）午前10時00分から午前11時30分まで

場所：あきる野市役所5階、503会議室

## 【構成委員と出席者】

	氏名	所属	出欠
委員	相原 宏次	東京都農業会議 事務局長	出席
	甲野 富和	あきる野市農業委員会 会長	出席
	高木 守	秋川農業協同組合 地域振興部長	出席
	横田 弘文	秋川ファーマーズセンター直売所運営委員会 会長	欠席
	宮崎 恒雄	五日市ファーマーズセンター直売所運営委員会 会長	出席
	田中 英雄	十里木・長岳農畜産物等直売組合 副組合長	出席
	嶋崎 三雄	あきる野市農業振興会 会長	出席
	石川 光代	あきる野市農業振興会 幹事	出席
	山下 まこと	消費者の代表	出席
	秋山 とし子	消費者の代表	出席
	飯田 淳二	東京都農業会議	出席
	久保田 聡	東京都西多摩農業改良普及センター 所長	出席
	鎌田 純徳	東京都農業振興事務所	出席
	大久保 学	あきる野市環境経済部 部長	出席
事務局	青木 邦彰	あきる野市環境経済部農林課 課長	出席
	藤島 和彦	あきる野市環境経済部農林課農政係 係長	出席
	金澤 知行	あきる野市環境経済部農林課農政係 主事	出席
	平野 光彦	あきる野市環境経済部農林課農政係 会計年度任用職員	出席

## 【配布資料】

- 資料1 「会議次第」
- 資料2 「委員名簿」
- 資料3 「あきる野市農業振興計画策定検討委員会設置要綱」
- 資料4 「あきる野市農業振興計画（平成28年度策定）」
- 資料5 「あきる野農業の現状」
- 資料6 「アンケート調査（直売所利用者）（案）」
- 資料7 「アンケート調査（農家）（案）」
- 資料8 「策定検討委員会スケジュール（案）」

## 【会議内容（議事要旨）】

1. 開会 （事務局）
2. 委嘱書交付 尾崎副市長から各委員に委嘱書の交付が行われた。
3. 副市長挨拶 あきる野市副市長 尾崎 喜己より挨拶。
4. 委員及び事務局自己紹介 名簿に沿って出席者の自己紹介を行った。
5. 委員長副委員長の選任  
委員長に「相原委員」、副委員長に「甲野委員」が選任された。
6. 議事
  - (1) 現あきる野市農業振興計画について  
事務局より「あきる野市農業振興計画」について説明（資料4）。
  - (2) あきる野農業の現状について  
事務局より「あきる野農業の現状」について説明（資料5）。
  - (3) アンケート調査について  
事務局より「アンケート調査」の実施について説明（資料6・7）。
  - (4) その他
    - ・今後の策定スケジュールについて  
事務局より「策定検討委員会スケジュール」について説明（資料8）。

## 【会議内容（意見・質疑応答）】

会議における主な「意見・質疑応答」は以下のとおり。

- （委員）農業振興地域整備計画と農業振興計画に違いはあるのか。  
（事務局）「農業振興地域整備計画」とは、市内で農業振興地域と指定された区域の整備計画を定めた計画であり、今回の目的となっているあきる野農業全体の施策、方針などを定める「農業振興計画」とは異なる計画である。

- （委員）山間部で営農をしているが、山林化した農地や耕作放棄地が増加傾向にある。少子高齢化に伴い、農地が失われ、地域農業が衰退していくことが危惧されているため、今回の計画見直しに反映していきたい。
  
- （委員）秋川ファーマーズセンターの再整備について、具体的な計画はあるか。  
（事務局）平成5年にオープンしてから来年で30年を迎え、施設の老朽化が進行している。今後立替えを含めた動きがあるが、具体的にいつまでに立替えを行うなどの計画はない。  
（委員）秋川ファーマーズセンターには野菜が豊富にあるが、食の提供の面ではまだ弱い部分がある。再整備を行う際には食の提供が出来る場を盛り込むことを検討していただきたい。  
（委員）廃棄される農産物を活用した、加工施設の建設も計画に盛り込んでいきたい。
  
- （委員）新規就農者が前回の振興計画策定当初から増加傾向にあるが、理由はあるか。  
（事務局）コロナ渦により、社会的距離が保て、自然の中で出来る農業が注目されていることに加え、あきる野市においては、新規就農相談センターを設置し、東京都、農業会議、農林水産振興財団など関係機関と協力し相談から研修、就農、販路の確保まで、一連の流れが確立されていることも要因である。  
（委員）農業会議にも1日2～3件の相談があり、近年都内での就農の相談が増えている。
  
- （委員）山間部で耕作放棄地が増加している要因は農道へ入ってく道の基盤整備が出来ていないことが要因ではないかと考える。耕作放棄地の解消に向けた計画の方向性決定を望む。  
（事務局）東京都の補助事業もあるが、小規模土地改良については地権者全員の同意が必要であり、地域が一体となって取り組む必要があるため、今後の検討課題とさせていただきます。
  
- （委員）アンケートに山間部の小規模土地改良の項目を入れていただきたい。  
（事務局）市民、農家など幅広い意見を取り入れることを目的としているためアンケート項目に入れさせていただきます。

## 7. 閉会